

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成23年3月31日(2011.3.31)

【公開番号】特開2009-205010(P2009-205010A)

【公開日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2009-036

【出願番号】特願2008-48823(P2008-48823)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

G 0 3 G 21/14 (2006.01)

H 0 4 N 1/407 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/00 3 0 3

G 0 3 G 15/01 Y

G 0 3 G 21/00 3 7 2

H 0 4 N 1/40 1 0 1 E

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月10日(2011.2.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

像担持体を用いた画像形成を行う際に、該形成画像の階調特性を、予め作成したテーブルを用いて補正する画像形成装置であって、

前記像担持体上において、画像が形成されない領域にパッチを形成するパッチ形成手段と、

前記像担持体上に形成されたパッチの濃度を測定する測定手段と、

前記測定手段で測定されたパッチの濃度に基づき、前記テーブルを修正する修正手段と、を有し、

前記パッチ形成手段は、前記像担持体上における画像形成に並行して、前記パッチを形成することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記パッチ形成手段は、前記像担持体上の画像が形成される領域間にパッチを形成することを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記パッチ形成手段は、複数濃度のパッチを順次、画像が形成される毎に前記領域間に形成することを特徴とする請求項 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記パッチ形成手段は、前記テーブルの全階調間において均等な間隔となるように、前記複数濃度のパッチを順次形成することを特徴とする請求項 3 に記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記パッチ形成手段は、前記テーブルの全階調間における均等な間隔が、徐々に細くなるように前記複数濃度のパッチを順次形成することを特徴とする請求項 4 に記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記パッチ形成手段は、前記修正手段で修正されたテーブルにおける修正前後の乖離度に基づいて、前記複数濃度のパッチを順次形成することを特徴とする請求項 3 に記載の画像形成装置。

【請求項 7】

さらに、形成対象となる画像を解析する解析手段を有し、

前記パッチ形成手段は、前記解析手段における該解析結果に応じて、パッチ形成の対象色を制御することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 8】

像担持体を用いた画像形成を行う画像形成装置において、該形成画像の階調特性を、予め作成したテーブルを用いて補正する制御方法であって、

パッチ形成手段が、前記像担持体上において、画像が形成されない領域にパッチを形成するパッチ形成ステップと、

測定手段が、前記像担持体上に形成されたパッチの濃度を測定する測定ステップと、

修正手段が、前記測定ステップにおいて測定されたパッチの濃度に基づき、前記テーブルを修正する修正ステップと、を有し、

前記パッチ形成ステップにおいては、前記像担持体上における画像形成に並行して、前記パッチを形成することを特徴とする画像形成装置の制御方法。

【請求項 9】

前記パッチ形成ステップにおいては、前記像担持体上の画像が形成される領域間にパッチを形成することを特徴とする請求項 8 に記載の画像形成装置の制御方法。

【請求項 10】

前記パッチ形成ステップにおいては、複数濃度のパッチを順次、画像が形成される毎に前記領域間に形成することを特徴とする請求項 9 に記載の画像形成装置の制御方法。

【請求項 11】

コンピュータを請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置が有する各手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 12】

請求項 11 に記載のプログラムを記録したコンピュータ可読な記録媒体。